

遠野支署、岩手南部署合同開催の採材現地検討会に参加

令和8年10月6日(火)、岩手県遠野市土淵町の西恩徳国有林内において遠野支署と岩手南部署合同による採材現地検討会が開催され、青森事務所から職員2名が参加しました。当日は天候にも恵まれ、県・市担当者、林業関係団体や林業事業体など53名の参加者を得て開催されました。遠野支署長の挨拶後に講師の紹介と現地概要説明、続いて青森事務所から東北森林管理局管内の需要動向について、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項等について説明しました。

次に、岩手県森林組合連合会から県内の木材市況動向についての説明が行われ、実際の現地検討に移りました。



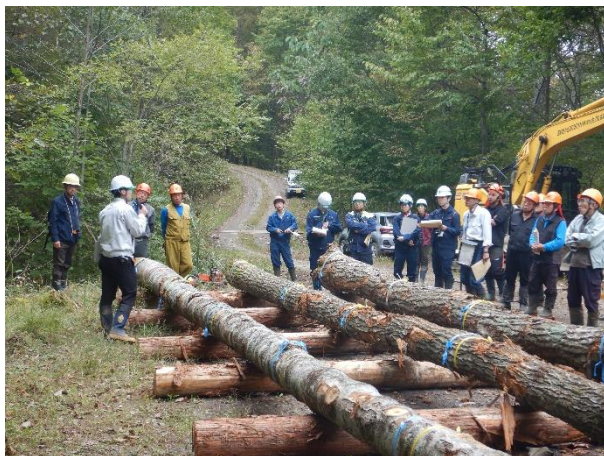
開会式の様子



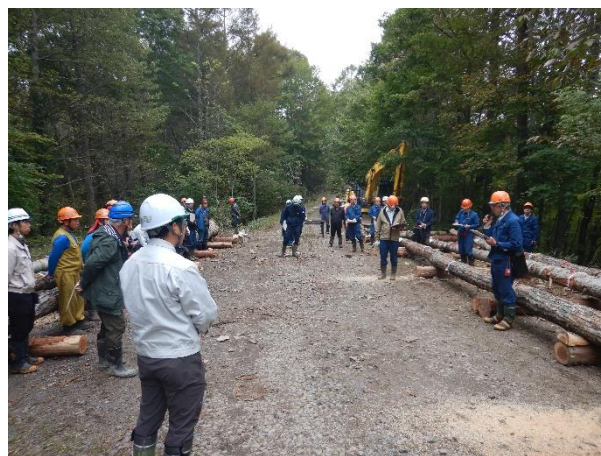
4班に分かれて採材検討

今回は、会場に広葉樹供試木6本が準備され、参加者が4班に分かれてそれぞれ有利採材となるための採材ポイントを検討し結果を発表。発表内容について、岩手県森連担当者から解説していただくとともに、採材に当たっての留意点等についても情報提供していただきました。また、各班が検討した造材ポイントを実際に玉切りして参加者全員で確認し、長尺材を採材する際の留意点について理解を深めることができるなど有意義な1日となりました。続いて青森事務所から講評と労働安全等についてお話をさせていただき、岩手南部森林管理署長の閉会の挨拶をもって検討会は無事終了となりました。

青森事務所では、今後も各署等で開催される採材検討会等に積極的に参加し、国有林材の有効利用や労働災害の未然防止に貢献したいと考えています。



検討結果の解説を熱心に聞く参加者



労働災害未然防止に向け指導